



# たづがね (鵲が音)

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子

## 読書離れが進んでいる!? 文化庁「国語に関する世論調査」より

文化庁は毎年、日本語の使い方の変化などを調べていて、2024年1月から3月にかけて全国の16歳以上の6000人に調査し、3559人から回答を得ました。

「ゆっくり、のんびり」を『ゆったり』、「しっかり、たくさん」を『がっつり』と表現することについて「気にならない」と答えた人が8割余りにのぼり、広く定着してきていることがわかりました。また、本を「読まない」と答えた人が6割余りにのぼり、**ほぼ3人に2人が本を読まず、「読書離れ」が進んでいることもみえてきました。**【9月18日 朝刊より抜粋】

## 本校児童の現状は

令和6年度9月(9/1~9/30)の状況

【図書館事務員さんの集計より】

学年	一人平均の冊数	目標到達者数
1年	14.0冊	4人
2年	17.6冊	4人
3年	8.6冊	3人
4年	19.4冊	7人
5年	6.3冊	5人
6年	11.3冊	7人
全校	11.0冊	30人



左記の数値を見られてどのように感じられるでしょうか。これは本校児童の9月ひと月分の結果ですので、他の月では多少増減があります。

本校では、図書担当と図書館事務員さん、図書委員会が様々な企画を考えて、児童が読書に親しむ企画や機会を設けています。9月は大きなイベント(祭礼や運動会)があった中での結果です。

※4~6年生はこれ以外に、電子図書(端末で利用)も読んでいます。左記の数値には含まれていません。

朝刊記事には以下のようなコメントも載せられていました。

**子どもたちの読書量は増加傾向という調査結果もあります。**

文化庁の調査で大人の読書離れが浮き彫りとなりましたが、一方で、子どもたちの読書量は増加傾向にあるという調査結果もあります。

全国学校図書館協議会が毎年行っている「学校読書調査」によりますと、全国の小学4年生から6年生、それに中学生と高校生の**1か月に読んだ本の冊数は、2023年6月の調査では小学生の平均は12.6冊**で、10年前の10.1冊と比べると2冊余り増えていて増加傾向にあります。

【9月18日 朝刊より抜粋】

大人は、「仕事が忙しい」とか「スマートフォンなどの利用の増加」など、本屋さんへ行って本を手にする機会が減ってきているのではないのでしょうか。

子どもに読書を推奨する上で、大人も読書の機会をもつ必要がありますね。

「読書の秋」とも言われます。秋の夜長を、子どもと一緒に読書する時間を設けてみてはいかがでしょうか。

近年、「寝る前に読むと心がほっとする」「童心や好奇心をくすぐる」**【大人が読みたい絵本】**というのも話題になっていますね。

